

会 告

[ゴシック体は本会主催]

開 催 日	催 物 ご 案 内 (): 開催地	参 加 費 (テキスト代)	申 込 締 切 期 日 等	掲 載 号
8月20日(木)	第4回ものづくりプロセス基礎講習シリーズ「医薬品合成技術者のための実践基礎講習」(大阪・WEB)	—	—	第84巻7号
22日(土)	2026年度若手研究者のためのセミナー(東京)	無料	90名	本 号
22日(土)	第38回若手研究者のためのセミナー(福岡)	無料	8月17日	本 号
31日～ 9月1日(月～火)	シンポジウム「モレキュラー・キラリティー 2026」(東京)	—	—	第84巻7号
1～2日(火～水)	有機合成夏期セミナー 明日の有機合成化学(大阪・WEB)	—	8月19日	第84巻7号
2日(水)	2026年度有機合成化学協会東海支部 有機合成セミナー(静岡)	—	—	本 号
4日(金)	化学系業界紹介イベントー研究を社会につなぐ企業戦略ー(WEB)	—	—	本 号
4日(金)	第29回 ヨウ素学会シンポジウム(千葉)	—	—	第84巻4号
8日(火)	講演会 データ駆動×実験自動化が変える研究開発: 材料・反応・製品開発 DX の最前線(WEB)	—	—	本 号
9～11日(水～金)	第42回有機合成化学セミナー(岐阜)	—	—	本 号
10～12日(木～土)	第36回基礎有機化学討論会(第55回構造有機化学討論会・第75回有機反応化学討論会)(金沢)	—	—	第84巻6号
11～12日(金～土)	第40回若手化学者のための化学道場(米子)	—	7月27日	第84巻7号
14～16日(月～水)	第72回有機金属化学討論会(札幌)	—	—	第84巻4号
16～18日(水～金)	第60回有機反応若手の会(御殿場)	—	7月7日	第84巻6号
14～17日(月～水)	The 30th French-Japanese Symposium on Medicinal and Fine Chemistry(フランス)	—	6月15日	第84巻5号
24～25日(木～金)	2026年度有機合成化学北陸セミナー(金沢)	—	—	本 号
10月6～8日(火～木)	第55回複素環化学討論会(岡山)	—	—	第84巻5号
7～8日(水～木)	入門触媒科学セミナー(大阪)	—	9月11日 70名	第84巻7号
15～16日(木～金)	光化学講座シリーズ 2026 基礎講座(WEB)	—	10月1日 200名	本 号
16日(金)	セミナー「炭素循環型バイオ燃料の未来展望」(大阪)	—	10月9日	本 号
26～27日(月～火)	ナノ材料の総合分析講習(大阪)	—	10月5日	本 号
31日～ 11月1日(土～日)	第57回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(名古屋)	—	—	第84巻7号
5～6日(木～金)	第129回有機合成シンポジウム(東京)	—	—	第84巻7号
16～19日(月～木)	16回国際有機化学京都会議(IKCOC-16)(京都)	—	—	第84巻4号
20～23日(金～月)	14th International Vanadium Symposium(V14)(大阪)	—	—	第84巻4号
12月3～4日(木～金)	第49回フッ素化学討論会(静岡)	—	—	本 号

本誌会告への掲載について 本誌会告欄では、本会の本部・支部が主催または共催する催しものについては必要な範囲で全文を掲載いたします。他学協会等の主催するもので、本会が協賛の催しものは一部の内容のみの掲載とさせていただきます。協会HPにも掲載しております。原稿締切は掲載号の前々月25日(10月号は8月25日)厳守です。なお、開催の可否等、詳細は主催団体のHPをご覧ください。

2026 年度若手研究者のためのセミナー

主催 有機合成化学協会関東支部

共催 東京科学大学総合研究院生体材料工学研究所

日 時：8月22日(土)13:30～

会 場：東京科学大学(湯島)M&D タワー 2F「共用講義室」
(113-0034 東京都文京区湯島 1-5-45)

交 通：① JR 中央線，中央・総武線「御茶ノ水駅(御茶ノ水橋口)」下車，徒歩 3 分，② 東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」下車，徒歩 1 分(<https://www.isct.ac.jp/ja/001/about/campuses-and-offices/yushima-and-surugadai>)

講演者と演題(敬称略，講演順未定)：

1. 「1,2-*cis*-フラノシド含有糖質の全合成研究に端を発する立体選択的フラノシル化反応の開発と応用」(慶應義塾大学理工学部応用化学科)稲葉和樹
2. 「易反応性骨格を活かす有機合成化学：ブテノリドを起点とする分子構築戦略」(立教大学理学部化学科)大多和正樹
3. 「反応場の区画化に基づく動的速度論的光学分割法の開発」(産業技術総合研究所化学プロセス研究部門)鹿又喬平
4. 「持続可能な製造を志向したアレクシニブのインドール骨格の製法改良」(中外製薬(株)製薬技術本部 製薬研究部)川端遥
5. 「天然物骨格リデザイン：エクテナサイジン近傍化学空間の開拓」(東京大学大学院理学系研究科)谷藤涼
6. 「高酸化度ステロイド天然物の全合成」(東京大学大学院薬学系研究科)萩原浩一

☆懇親会 明治大学 1F「カフェパッセ」(化学会館隣)

定 員：90 名

参 加 費：無料(会員・会員外問わず)

懇親会参加費：一般 3,000 円/学生 2,000 円(支払方法：当日現金)。

※事前予約制・申込締切日：8月14日(金)。※当日受付は行いません。※最新情報ならびに詳細については協会 HP でご確認ください。

申込方法：協会 HP(<https://www.ssocj.jp/event/20260822/>)よりお申し込みください。

問 合 先：有機合成化学協会関東支部若手セミナー係(TEL 03-3292-7621, e-mail: syn.org.chem@tokyo.email.ne.jp)

第 38 回若手研究者のためのセミナー

主催 有機合成化学協会九州・山口支部

日 時：8月22日(土)13:00～17:30(予定)

会 場：九州大学病院キャンパス(福岡市東区馬出 3-1-1)

講演会場：薬学部第一講堂

特別講演：「電子注入に基づく不飽和分子の高度官能基化」(京都大学)依光英樹

学生講演：有機合成化学協会九州・山口支部ポスター賞受賞，第 63 回化学関連支部合同九州大会有機化学分野最優秀・優秀発表賞受賞者，第 36 回福岡シンポジウム最優秀・優秀ポスター賞受賞者

参 加 費：無料

参加申込締切：8月17日(月)

参加申込方法：申し込みフォーム(<https://forms.gle/AQHXXy6psAiMGyP8>)より必要事項をご入力ください。

問 合 先：有機合成化学協会九州・山口支部(TEL 092-802-4130, e-mail: qsibutcf@chem.kyushu-univ.jp, 支 部 HP <https://www.socky.jp/>)

2026 年度有機合成化学協会東海支部 有機合成セミナー

主催 有機合成化学協会東海支部

日 時：9月2日(水)14:30～16:50

会 場：静岡県立大学草薙キャンパス看護学部棟 4 階 13411 教室

プログラム：

14:30 開会挨拶

14:35 招待講演「プロセス研究の事例紹介：ジアステレオマー塩結晶化スクリーニング法の確立と製造法開発への活用」(第一三共株式会社プロセス技術研究所)鈴木恵介

15:35 休憩

15:45 招待講演「金触媒を用いた多環式の骨格と全合成研究への展開」(京都大学大学院薬学研究科教授)大野浩章

16:45 閉会挨拶

問 合 先：静岡県立大学薬学部 眞鍋敬(e-mail: manabe@u-shizuoka-ken.ac.jp)

化学系業界紹介イベント ー研究を社会につなぐ企業戦略ー

主催 日本化学会近畿支部

協賛 有機合成化学協会関西支部ほか

日 時：9月4日(金)13:00～16:05

開催方法：オンライン

プログラム：

開会挨拶(京大化研)山田谷子

趣旨説明(関西大化学生命工)梅田星

1. 共存共栄～世に役立つアイテムを生み出すには？～(共栄社化学)岡本直樹
2. 人と社会に豊かさと快適をこれからも(日本触媒)齊藤周
3. “人”から始まる創薬-SHIONOGI 研究所の人材戦略と試行錯誤-(塩野義製薬)高橋知佳
4. 世界に繋がる舞台で自己実現を目指しませんか！(東レ)後藤一起

総括と閉会挨拶(京大院工)木村祐

対 象：化学系学部・大学院生，高専生，化学系学部・大学院生の保護者，高専生の保護者

参 加 費：無料

参加申込方法：HP(<https://csjkinki.com/career-design/>)よりお申し込みください。

問 合 先：550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階 日本化学会近畿支部(TEL 06-6441-5531, e-mail: csjevent@kinki.chemistry.or.jp)

講演会

データ駆動×実験自動化が変える研究開発： 材料・反応・製品開発 DX の最前線

主催 日本化学会関東支部

協賛 有機合成化学協会ほか

日 時：9月8日(火)

開催方法：オンライン

講演者:

- ・「ケモインフォマティクス手法の開発」(奈良先端科学技術大学院大学)宮尾知幸
- ・「産総研におけるマテリアル DX の取り組み」(産業技術総合研究所)三宅隆
- ・「自動合成技術とデータ科学の融合による自律型研究プラットフォームの構築」(国立研究開発法人物質・材料研究機構)長田裕也
- ・「継続的なイノベーション創出に向けて 積水化学におけるマテリアルズインフォマティクス導入の取り組み」(積水化学工業株式会社・京都工芸繊維大学)日下康成
- ・「ライオンの研究 DX: 実用材料に対するマテリアルズインフォマティクス導入」(ライオン株式会社)稲垣英輔
- ・「旭化成における R&D DX の取り組み紹介」(旭化成株式会社)石山裕輝

参加費: 会員 17,000 円, 学生会員 2,000 円, 非会員一般 25,000 円, 非会員学生 4,000 円。※協賛団体会員, 法人会員企業に所属する方は, 会員価格で参加いただけます。

申込方法: HP(<https://kanto.csj.jp/event/2026/05211407154383/>)よりお申し込みください。

問合せ先: 日本化学会関東支部事務局(e-mail: kanto@chemistry.or.jp)

2026 年度有機合成化学北陸セミナー

主催 有機合成化学協会関西支部

共催 日本薬学会北陸支部, 日本化学会近畿支部

日時: 9月24日(木)~25日(金)

会場: 石川県青少年総合研修センター(金沢市常盤町 212-1)

特別講演: 安田誠(阪大院工), 森本積(奈良先端大)

一般講演: 口頭発表(討論を含めて 1 講演 12 分を予定)またはポスター発表

発表申込方法: 「北陸セミナー発表申込」と標記し, 1)発表形式の希望(口頭/ポスター発表の別), 2)発表題目, 3)所属・氏名(発表者に○), 4)申込者氏名, 5)連絡先(〒, 住所, TEL, e-mail)を明記の上, e-mail にて下記申込先へお送り下さい。

発表申込締切: 8月4日(火)

予稿原稿締切: 8月30日(日)(下記 HP のテンプレートをご利用下さい)

参加登録申込締切: 8月4日(火)

参加費: 企業 20,000 円, 大学・官公庁 18,000 円, 学生 10,000 円(要旨集代, 宿泊費, 朝夕食費を含む)

参加登録方法: 「北陸セミナー参加申込」と標記し, 1)氏名(男女の別), 2)所属, 3)職名または学年, 4)申込者氏名, 5)連絡先(〒, 住所, TEL, e-mail)を明記の上, e-mail にて下記申込先へお送り下さい。参加費は, e-mail 申込と同時に郵便振替(口座番号: 00760-3-9988, 口座名称: 有機合成化学北陸セミナー)にて, なるべく研究室単位でお振り込み下さい。振替用紙の通信欄には, 所属, 研究室名, 代表者, 送金内容を記入して下さい。

申込・問合せ先: 920-1192 金沢市角間町 金沢大学理工研究域物質化学系化学コース 添田貴宏 2026 年度有機合成化学北陸セミナー実行委員会(TEL 076-264-5732, e-mail: soeta@se.kanazawa-u.ac.jp, URL <http://www.soc-kansai.org/event/2026/2026hokuriku.html>)

光化学講座シリーズ 2026 基礎講座

主催 光化学協会

協賛 有機合成化学協会ほか

日時: 10月15日(木)~16日(金)10:00~17:40

開催方法: オンライン

プログラム:

10月15日(木)

1章 光とは何か?・2章 分子の電子状態・3章 電子励起状態(阪公大院工)池田浩

4章 分子と光の相互作用・5章 光化学における時間スケール(阪大産研)藤塚守

7章 光化学の観測と解析・8章 どのように光をあてるか(阪大 R3 センター)宮坂博

10月16日(金)

光化学の応用(阪公大院工)小島誠也

6章 分子に光をあけると何が起るか・9章 光化学の素過程・10章 光化学反応の特徴(阪大環境安全研究管理センター)森直

[特別講演](電気通信大学)平野誉

申込締切・方法: 10月1日(木)(定員 200 名)。HP(<https://photochemistry.jp/kouza/2026/kiso/index.html>)よりお申し込みください。当日欠席されても参加費は返金できません(代理出席は可)。

受講料: 光化学基礎講座を受講した方は『光化学応用講座』を無料で受講することが可能です。詳しくは HP をご覧ください。一般会員・官公庁・大学・学生 3,000 円, 有機合成化学協会会員・協賛団体 3,000 円, 一般非会員 5,000 円(テキスト代は含まれておりません。下記のテキストを各自でご購入下さい)

テキスト: 井上, 高木, 佐々木, 朴著, 光化学 I, 丸善(2 日で全章を修了します)

問合せ先: 広島大学大学院先進理工系科学研究科(e-mail: jpakouza2026photochem.jp)

セミナー「炭素循環型バイオ燃料の未来展望」

主催 化学工学会関西支部

協賛 有機合成化学協会関西支部

日時: 10月16日(金)13:00~18:00

会場: 大阪科学技術センター 7 階 701 号室(大阪市西区靱本町 1-8-4)(オンライン併用 13:00~15:20)

プログラム:

1. 我が国初となる国産 SAF 製造事業に見る脱炭素社会の展望(日揮ホールディングス)西村勇毅

2. ちとせグループが進める微細藻類を利用した産業のバイオ化(ちとせ研究所)吉村淳

3. 未利用バイオマス由来のバイオ燃料の低エネルギー製造技術とその利用展開(阪公大院工)小川泰一郎

4. Nature Positive で自国増産可能なバイオマスの活用とそのカーボンニュートラル戦略への挑戦<対面参加者のみ聴講可>(京大成長戦略本部)植田充美

5. 王子ホールディングスの木質バイオマスとその活用戦略<対面参加者のみ聴講可>(王子ホールディングス)奥谷岳人

6. 名刺交換会

参加費：主催・協賛団体個人正会員 19,000 円，主催・協賛団体所属法人会員 23,000 円，大学・公設機関 7,000 円，学生会員 3,000 円，会員外学生 5,000 円，会員外 37,000 円(テキスト代・消費税込，オンラインも同額)

申込締切：10 月 9 日(金)，ただし定員(対面式 70 名，オンライン式 90 名)になり次第締切

申込・問合先：550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階 化学工学会関西支部(TEL 06-6441-5531, e-mail: apply@kansai-scej.org, HP <https://www.kansai-scej.org/topics/7410>)

ナノ材料の総合分析講習

主催 近畿化学協会触媒・表面部会
協賛 有機合成化学協会関西支部ほか

日時：10 月 26 日(月)～27 日(火)

会場：大阪公立大学杉本キャンパス(558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138)

プログラム：

1 日目

開会挨拶(阪公大 ReCAP)天尾豊，1. 表面分析概論(大工大)天尾豊，2. 質量分析・クロマトグラフ(MS・GC・LC)(京大院工)井口翔之，3. 光電子分光法(XPS, UPS)(京都工繊大材料化学)富田修，4. X 線回折(XRD)(京大院人環)高見大地，5. 電気化学測定(京大)東正信，6. 赤外・ラマンスペクトル(FT-IR, Raman)(阪公大院工)竹内雅人，7. 昇温法(TG・DTA・TPD, TPR)(阪大院工)森浩亮，交流会

2 日目

8. X 線吸収微細構造(XAFS)(近大理工)山本旭，9. 紫外可視・光ルミネセンス(UV-vis, PL)(京大院工)浪花晋平，10. 核磁気共鳴(NMR)(神戸大院工)山口渉，11. 顕微鏡(TEM・SEM・STM・AFM)(阪大院工)古川森也，12. 組成分析(AAS, ICP-AES, XRF)(関大環境都市工)福康二郎，13. 吸着法(近大理工)室山広樹，14. 電子スピン共鳴(ESR)(阪公大院工)松岡雅也，15. 総論・ケーススタディー(京大院人環)吉田寿雄，閉会挨拶(阪公大 ReCAP)天尾豊

申込締切：10 月 5 日(月)

参加費：協賛団体会員 33,000 円，近畿化学協会触媒・表面部会法人会員 28,000 円，一般 43,000 円，学生 11,000 円

申込方法：HP(<https://kinka.or.jp/form/view.php?id=28120>)からお申し込みください。

申込先：550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階 近畿化学協会触媒・表面部会(TEL 06-6441-5531, FAX 06-6443-6685, e-mail: catal@kinka.or.jp)

第 49 回フッ素化学討論会

主催 日本フッ素化学会
協賛 有機合成化学協会ほか

日時：12 月 3 日(木)～4 日(金)

会場：静岡県コンベンションアーツセンター(グランシップ)(422-8019 静岡市駿河区東静岡 2-3-1)

発表形式：招待講演，一般口頭発表，ポスター発表

招待講演：井上宗宣(相模中央化学研究所)，田中一生(京都大学)，Qilong Shen(上海有機化学研究所)

参加・発表申込方法：HP(<https://www.sfcj.jp/nenkai.html>)よ

りお申し込みください。

発表申込締切：10 月 2 日

予稿原稿申込締切：10 月 9 日

早期参加申込締切：10 月 30 日

参加費：HP をご参照ください。

問合先：422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1 静岡県立大学薬学部 濱島義隆(TEL 054-264-5672, e-mail: sousei@u-shizuoka-ken.ac.jp)

* * *

徳山科学技術振興財団 2027 年度研究助成及び国際シンポジウム助成の公募

(公財)徳山科学技術振興財団では 2027 年度の研究助成及び国際シンポジウム助成の公募を行います。詳細は財団 HP をご参照ください。

1. 2027 年度研究助成

1-1. 研究助成

助成対象：新材料(無機，有機，高分子，その他)およびこれに関連する科学技術分野で，新材料開発の基礎並びに応用を指向する独創的研究。国内の大学等(大学，大学共同利用機関または高等専門学校)に常勤する 45 歳未満の研究者で，所属機関の長から推薦を受けた者。

助成額：1 件 2,000 千円。12 件程度

応募期間：2026 年 8 月 1 日～9 月 18 日正午必着

1-2. スタートアップ助成

助成対象：新材料(無機，有機，高分子，その他)およびこれに関連する科学技術分野で，新材料開発の基礎並びに応用を指向する独創的研究。国内の大学等(大学，大学共同利用機関または高等専門学校)に常勤する 45 歳未満の研究者のうち，学位取得後 10 年以内および現在のポジションに就いて 3 年以内の研究者で，所属機関の長から推薦を受けた者。

助成額：1 件 1,000 千円。12 件程度

応募期間：2026 年 8 月 1 日～9 月 18 日正午必着

2. 2027 年度国際シンポジウム助成

助成対象：国内で開催される，新材料(無機，有機，高分子，その他)およびこれに関連する科学技術分野の国際シンポジウムで，当財団の助成事業目的にふさわしいもの。対象とする会議の規模としては約百人規模から数百人規模の会議。

助成額：1 件 10～30 万円。

応募期間：2026 年 8 月 1 日～9 月 18 日正午必着

連絡先：745-8648 山口県周南市御影町 1-1 (公財)徳山科学技術振興財団(TEL 0834-34-2581, e-mail: zaidan@tokuyamagr.com, HP <http://www.tokuyama.co.jp/zaidan/>)

* * *

公益信託 伊藤徳三ひまし研究基金 2027 年度募集要項

研究助成部門

1. 対象となる研究：ひま種子，ひまし油，ひまし油誘導体(リシノール酸，セバシン酸，ウンデシレン酸，2-オクタノール，12-ヒドロキシステアリン酸等)に関する次の研究を対象とします。

- (1) ひまし油・ひまし油誘導体の精密化学変換に関する研究，
- (2) ひまし油・ひまし油誘導体を利用する機能材料及び生物活性物質に関する研究，
- (3) ひま種子の増産に資する育種及

び栽培技術に関する研究、(4)上記以外のひまし油関連産業の発展に資する基礎・応用研究。

2. 応募資格：大学・公的研究機関等の営利を目的としない研究機関に所属し、上記の研究に従事する研究者・研究グループ。特に若手研究者からの応募を期待します。＊なお、過去助成を受けた方でもその後の発展があれば応募可能です。
3. 助成件数と金額：1件100万円以内、1～2件程度採用予定
4. 助成金の使途：機材費、試薬、消耗品、謝金等研究推進に必要な経費に充当するものとします。所属機関への委任経理とする場合、間接経費の使用及び使用者の変更は認めません。

顕彰部門

1. 対象となる研究：前項2. 研究助成の「対象となる研究」に記載の各分野において調査・研究を行い顕著な業績を挙げ、我が国のひまし関連産業の発展に寄与した研究。
2. 応募資格：大学・公的研究機関等の営利を目的としない研究機関に所属し、上記の研究に従事する研究者・研究グループ。
3. 助成件数と金額：研究者個人の場合は20万円以内、グループの場合は50万円以内。所属機関への委任経理とする場合、

間接経費の使用及び使用者の変更は認めません。

募集期間：研究助成部門、顕彰部門ともに2026年11月16日(月)～2027年1月8日(金)当日消印有効。

応募方法：申請書は下記URL(<https://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>)からダウンロードして下さい。なお、ご提出いただいた申請書等は返却いたしません。

(1)研究助成部門応募者は、所定の申請書に必要事項を記入し、応募内容に引用された主な論文及び研究発表(要旨も可)を添付して下さい。

(2)顕彰部門応募の場合は、所定の申請書に必要事項を記入し、応募内容に引用されました主な論文・特許等(要旨も可)3点以内を添付して下さい。

申請書の提出先・照会先：105-8574 東京都港区芝3-33-1 三井住友信託銀行個人資産受託業務部公益信託チーム 公益信託伊藤徳三ひまし研究基金 申請口〔TEL 03-5232-8910(受付：平日9時～17時)〕